

サンタが園に やってきた!



子供たちの笑顔はじけて

新潟医療センターニュース

第40号
発行
新潟県厚生連労働組合新潟支部
発行責任者
荻澤 仁



昨年入社したばかりの事務員、十日町出身・春日大輝二十二歳、院内保育所「ちゅうりっぷ園」に毎年やってくるサンタクロースに大抜擢。先輩に「子供たちの夢を壊さない様に」とプレッシャーをかけられ、訪問した時の脚はガタガタ震えた。ドアを開けると、こちらに集中する真ん丸なつぶらな瞳…春日君の顔はサンタの衣装と同じくらい赤くなった。保育士さん達の助けもあり、歌や質問コーナーでクリスマス会は盛り上がった。子供たち一人一人にプレゼントが手渡され、最高の笑顔が園内に弾け、優しい空間に包まれた。春日君、頑張ったなあ。

(記事／優しい先輩)

謹賀 新年



くろぐろした煙を吐きながら前へ進む機関車
沢山の乗客を乗せて、よいこうしよ!
汽笛を鳴らし、悲鳴を上げる体にげきを飛ばし
険しい山々を登りきれ、えいこうしよ!
みんなの笑顔を乗せ、みんなの健康を願い
走れ走れ医療センター号
進め進め煙を吐いて ほっほほ
しゅっほしゅっほほ

本年も、よろしくお願い致します



スペイン語で楽しく

六年前、偶然耳にしたスペイン語の曲の意味を調べたのがきっかけでスペイン語にはまりました。最初は辞書や初心者テキストでABCや「Hola!」(こんにちは!)から始めましたが、分かる単語が増えるにつれ学ぶのが楽しくなり、歴史や文化の深さを知るようになり、スペインサッカーにもはまり、

医療豆知識

傷あとが残るの... 低温やけどで?

寒い季節となり、湯たんぽや貼るカイロが恋しい季節となりました。この季節、湯たんぽや貼るカイロなどの使用により、増えてくるのが「低温やけど」です。

「低温やけど」は、心地よいと感じる温度のものが直接皮膚に接していることで発症します。発症までの温度と時間の目安は四四℃で三〇分、四時間、四六℃で三〇分、



一時間といわれています。「低温やけど」と聞きますと、低温だから軽傷なのでは? と思われるかもしれませんが、ところが低温ですと体にジワジワと熱が伝わるため、皮膚の表面ではなく、体の深部である筋肉や脂肪に影響を受けやすいのです。不思議なことに、やけどが筋肉や脂肪にまで達すると痛みを感じないのです。よって重症化するケースが多く、治癒には数か月を要し、必ず傷跡が残ります。

まずは予防が大切です。湯たんぽや貼るカイロは直接肌に触れないように注意しましょう。万が一湯たんぽやカイロのあたっていた部分の皮膚が赤くなったら、痛みがなくてもすぐに皮膚科を受診してください。

認定看護師 西片 一臣



夏には念願かかってFCバルセロナの本拠地であるカンプレウでメッシの華麗なプレイを見ることができました。思った以上に現地でスペイン語が通じたこともうれしい経験でした。スペイン語を話す人口は五億人、中国語・英語に続き世界第三位です。これからも頭の体操のつもりで楽しく続けたいと思います。

B3病棟看護師長 西澤 睦

二年目を迎え

昨年は学生から社会人になり変化がたくさんあった一年でした。入職したばかりで何も分からない私たちに先輩方は一つ一つの事に対し、やり方だけでなく根拠から丁寧に教えてくださいました。まだまだ分からない事もありますが夜勤も独り立ちできるようにになりました。今年には社会人二年目になります。

病院探索

手術室編

手術室・さらに充実 外科用イメージ新規導入

当院の手術室は、朝から大忙しです。大小四つの部屋をフル稼働し様々な手術が行われます。心臓のバイパス手術、膝の人工関節手術、尿管結石の破砕術等、挙げればきりがありません。手術機器もその目的に応じて、

これまた大小様々です。今年一番に手術室に導入されたのが二台目の「外科用イメージ」です。簡単に説明すると、X線透視が出来る移動型の装置です。整形外科の手術では、人工物を骨にかぶせたり固定したりするので、透視画像を見ながら手術する場合がございます。泌尿器科の尿管結石の破砕も、結石の位置を正しく知るのに透視にて確認します。



移動型といっても、手術件数が多く複数平行に手術が行われていきますので、二台目の外科用イメージ導入により、円滑に手術スケジュールが消化できる様になりました。今回導入された装置自体も高性能にて、より鮮明な画像、低被ばくにて手術が行われます。より安心して手術を受けて頂けるように、さらなる充実を目指しております。(記事/大橋)

す。毎日勉強する事が苦手な私ですが、今年には計画的に勉強も進めていきたいです。そして、続ける事が大切なので何事も継続して行える一年にしたいです。そのためには早寝早起きを

心がけ、健康管理をしつかりしていきたいです。

B2看護師 川端 里織

編集後記

今回、初めて医療センターニュースの編集に携わった私。正直、今まで外に置いてあることは知っていましたが、直接目にしたことはありませんでした。「はじめてのサンタクロース」での優しい先輩の記事が特にいいですね。二〇一三年巳年、医療センターニュースと共に走り出します。(酒井)



編集委員 酒井 妙子

横山 佐和子 齋藤 修 宮村 誠 藤田 真由美
阿部 真由美 吉川 博子 菲澤 仁 大橋 利弘